

庚申堂



上町公民館の前に「庚申堂（こうしんどう）」と呼ばれる小さなお堂がある。

この庚申堂は、江戸時代の享保年間（1716年～1736年）の飢饉の際、多数の村人が亡くなり、その供養のため一堂を建立したと伝えられている。享保4年（1719年）銘の青面金剛（しょうめんこんごう）が祀られている。